



森ボラ通信

第27号 2004年 8月20日発行

北海道森林ボランティア協会

札幌市中央区北1条東1丁目明治安田生命ビル8F

Tel 241-8155 Fax241-8308

E-mail : shinrin-b@pc.aaapc.co.jp

重要なお知らせ「森ボラ通信」送付方法の変更

森ボラ通信に同封しております。「あらた」が9月20日発行の10月号で休刊になります。そのためにこの「森ボラ通信」10月号からは以下の送付方法に変更します。

1. パソコン所持者はインターネットの「森ボラ通信」を見ていただきます。郵送等の送付なし。
2. FAX所持者にはFAXでお届けします。郵送なし。
3. 1、2以外の方には郵送いたします。ただし、2004年度の年会費を納入されている方に限定させていただきます。近々の現場での手渡しもやってみます。

なお、これに伴いまして CWEの事務所の変更が予想されます。その場合は当事務局も場所を変更します。確定次第お報せいたします。

《お願い》

上記の変更に対応するために、改めてパソコンおよびFAX所持の調査をします。ご協力をお願いします。

学生ボランティアの森ボラ研修のお報せ

日本学生支援機構より学生ボランティアの森林ボランティア研修指導の依頼がきました。9月29日（水）澄川で行います。それに先立ち9月7日（火）に打合せ、9月17日（金）に支部長さんの現地視察があります。学生の参加人数は確定していませんが、募集人数は30人となっています。主な作業はチルホールの使い方を指導して、不法投棄の大型タイヤの掃除を考えています。これの対応のため9月の作業日の変更があります。あらためて同封の参加申込書で確認の上、再度提出してください。

斉藤リンゴ園打合せ結果報告

日時：2004年8月14日（土）AM10：00～11：00

場所：斉藤氏宅

参加者：斉藤ご夫妻、湊、芝の4名

■本年度分について■

1. みなさんの応援が精神的支えとなり、協会の支援に感謝している。
2. 森ボラ会員の技術レベルは初年度なのでますます、少しずつ上達している。
3. 支援と応援があったお陰で、園の運営が可能となり、資金的投資もした。
4. 収穫終了時に協会に対して謝礼をする気持ちでいる。
5. 毎週1～2回、（梯子の数から）5～7名の参加が好ましい。
6. 9月以降について
 - （イ）週1回、繁忙時週2回程度が望ましい。
 - （ロ）1回の人数は5～7人程度。
 - （ハ）9月、10月の作業は「葉むしり」「袋はずし」「収穫」である。
 - （ニ）11月10日ごろに作業は終了する。
 - （ホ）12月は作業なし。
7. 当協会に供与されたリンゴの木1本にあつかいは、参加者の交通費捻出のための現金での助成もしくは寄付金に振替えていただきたくことを了承された。最終作業終了後参加人員を集計し請求する。
8. 虎谷氏借家の使用については、使用できる方向で（トイレ含む）、斉藤氏が調整する。

■次年度以降について■

1. 斉藤氏の思いと考え方
 - （イ）支援のお陰で今年度は運営したが、健康体（夫婦ともに）であれば、1～2年程度は可能であるが、どちらか一方でも病気もしくは死去した場合は運営できない。
 - （ロ）斉藤氏が死去の場合は、相続のこともあり、売却の方向しかない。
 - （ハ）この土地は、宅地市街化調整区域なので宅地にはできない。が宅地以外であれば可能である。
 - （ニ）ために病院、その他から打診あり、市からも打診あったが、進展してはいない。市からの話が具体化すれば対応したい。
2. 森ボラ協会の支援が今後とも可能であれば、健康体で気力あるうちは継続したい。
3. リンゴ園で利益を出して、森ボラ協力者に対して交通費以外に作業手当や食事手当てを支払うまでは出来ない。その場合はプロを雇用するか閉園する。

4. 協会と斉藤リンゴ園との間で平成17年度は覚書等を交わし、双方協議の上実施する。
覚書原案を当協で作成し、年内に作成する。

(イ) 年間作業スケジュール、動員人数等の調整

年間スケジュールの概要

1月、4月は作業なし、2月～3月は剪定、枝処理、5月～7月は摘果、7月は袋かけ
9月～10月は葉つみ、袋はずし、収穫、11月は収穫

(ロ) 交通費他助成金の調整

■芝所見■

支援（森ボラ、三角山、虎谷氏等）により、心強く、精神的・気分的に明るい顔の斉藤氏を見た。売り先は無農薬栽培品販売業者および2～3の小売業者で、安心・安定した売り先と、固定的な直接購入の個人で、多くの利益を上げているとは思えず、斉藤氏ご夫婦と当協会員が「楽しく」「明るく」行動することがよい、と考えます。双方が率直に意見を交換し、透明度を上げることで、次年度以降も継続することを望みます。

澄川作業

8月12日（木）参加11名、13日（金）参加7名。2日連続で澄川に入りました。新しく拡張された部分の間伐を進めております。13日は天気予報は雨でした。朝から小雨が降ったり止んだりでしたが、7名の参加者でした。全員で拡張部分の境界を歩き、林相を観察いたしました。残りの時間チェーンソーのガソリンを使い切るまで間伐をしました。雨模様だし、蚊の襲来がはげしいので、あずましくなく昼ご飯を食べずに引き上げました。

12日、佐野さんが、ハチに刺されまして治療で通院するほどの被害をうけました。ハチ対策を検討しましょう。秋はハチ達の寿命が尽きる前の交尾の季節で行動が活発になります。お互いにハチには気をつけましょう。

森林総研作業

8月11日（水）参加18名。久しぶりの大人数でした。作業は毎木調査班と間伐班を編成し、毎木調査の1組は「と」小班のアカエゾ林の残りを片付けました。新しく手をつける「ち」小班の調査も完了しました。間伐班の進行は「ち」小班の2割程度をやった感じであります。あと2回の間伐作業を残す程度と判断します。データの整理はまだ完了しておりませんが、次月号では報告いたします。

8月幹事会報告

8月10日（火）、リンケージプラザにて8月幹事会を開催しました。

例会で寄せられた意見を踏まえて

1. リンゴ園斉藤オーナーの意思の確認を急ぐ、湊、芝両氏で訪問。
2. 有明、澄川、当別ともに森林法の改正により、適正な対象森林に位置付ける方向で対応を進める。
森林整備実施計画をそれぞれ作成を急ぐ。
3. 日中民間緑化交流基金の本年度のメ切りが8月25日である。ホブチ沙漠緑化事業を開始を申請する。
4. 「あらた」休刊対応の検討と「森ボラ通信」配布方法変更の承認。

参加幹事：加治、鎌田、酒井、芝、三浦、湊、村上（昭）、野

当別フクロウの森作業

8月5日（木）参加11名。最奥の無立木地を確認し、周囲を刈り払い、植樹の準備作業に入りました。この森は札幌工科専門の演習林でもありますので、学生指導のための作業を残しておく必要がありますので、「枝打ち」や「除伐・間伐」を全部やってしまうわけにはいかないのです。しかし、最奥の植樹は早く片付けたい部分です。

第一回 会員例会

8月4日（水）参加24名。エルプラザ4FC研修室がほぼ満席でした。9時30分から12時まで、活発な意見の交換がありました。まとめてみますと

1. リンゴ園のとりくみ

オーナーの意思を確認する。迷惑になっていないことの確認。

その上で継続ならば、別組織を立ち上げる。現状維持でよい。の意見がまとまらなかった。

交通費等経費補填方法について、収穫リンゴの売却による。オーナーより寄付を受ける。

作業計画をオーナーとすりあわせる。

2. 有明第二の取組み

NPO助成措置を活用する方向で、きっちりした各森林とも森林施業計画を作成する。

作業は集中方式の方がよい。

幹事会での決議事項の伝達を密にする。

顧問就任お願いに3氏より快諾いただきました

7月24日の法人化記念総会で報告しましたように、顧問就任をお願いしました3氏より、承諾の返事をいただきました。ここに改めて紹介いたします。

顧問 戸田一夫 様 前オイスカ北海道代表

顧問 堀達也 様 前北海道知事、現北海道森と緑の会会長

顧問 紺野忠義 様 現北海道造林協会副会長

有明第二作業

7月29日（木）30（金）8月2日（月）3（火）土日を除き4回連続で有明に入りました。参加者は10名、6名、11名で延べ25名でした。歩道の整備はほぼ見通しがつきました。秋植え場所の整備もすすみました。

8/2（月）作業内容：

境界確認を兼ね、これまで測量隊しか分け入らなかったトドマツ造林地とカラマツ造林地の下見をしました。トドマツ造林地は枯損木が多く、下草も成長せずそこだけぽっかり生気が感じられない空間です。早急な手入れが必要です。カラマツ造林地は50年以上前に植林したまま放置されたようですが、広葉樹もバランス良く成長したため、ほぼ理想的な針広混交林に育っており皆の意見は手入れの必要なしで一致しました。また、1ヶ所小規模ながら植林候補地の穴地を確認しました。この日は鎌田さんと荒船さんが終日遊歩道の開削に汗を流してくれました。口笛吹いて歩きたくなるような遊歩道が、着々と延びつつあります。名板の補充も必要です。（柴田久子）

木工の日

7月28日（水）杉本邸参加12名。各自の方向づけ徐々に固まりつつあるようです。完成品が待たれます。

NPO法人化記念総会

7月24日（土）参加20名、総会としては出席者が少なく。正式には議決事項は成立しませんが、形式はともかく、予定どおり議事を終了しました。開会にあたり横山新理事長の挨拶がありました。心強い応援団長がありました。ひきつづき小林三樹 藤女子大学大学院教授の講演に移りました。大変面白く、地球の水問題に対する認識が深まる内容でした。森林の大切さも強調されてわれわれの存在意義を再確認させていただきました。

森林総研作業

7月21日（水）、22日（木）、23日（金）3日連続で森林総研の実験林に入りました。参加者は16名、9名、11名で延べ36名でした。初日は新しく手入れする「ち」小班の枝打ちから始め、立枯れ木を除去しました。2日目は初日に引き続き立枯れ木の除去を完了し、生立木の間伐対象木を選別しました。3日目は、前回やり残した「り」小班の毎木調査をやり午前中で完了しました。午後からは「と」小班にとりかかりました。

当別フクロウの森作業

7月20日（火）参加11名。通路両脇に植えたイチイの補植をやりました。50本程度も枯れていました。苗とはいえない大きさだったことで活着率が悪いようです。

三角山リンゴ園作業、摘果終了につき8月作業中止

7月19日（月）参加11名。摘果作業は概ね終了とのこと。8月27日までの作業は必要なしということで、中止といたします。一番大変な摘果作業を体験。完了しました。ご苦労様でした。

新入会員の紹介（1名）

■村井弘美

2004年8月18日現在会員数 111名となりました。

「撫順市緑化友好植樹の旅」参加者

8月18日現在以下の13名です。

加治豊実、加治久美子、酒井和彦、榊原郁子、芝恵三、柴田久子、島田定信、杉本茂、杉本則子、野圭子、附田力也、真鍋京子、三和勉